

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	妊婦健康診査事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 1 健康づくり		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	母子保健法		
	目的	妊婦の健康管理を支援し、妊産婦及び乳幼児の死亡率低下、障害発生の予防を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	妊婦を対象として、14回分の妊婦健康診査を受診するための受診票を交付する。健康診査の内容は、基本項目（健康状態の把握、検査計測など）及び必要に応じて行う医学的検査（血液検査、超音波検査など）である。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	妊婦健康診査（1回から14回まで、子宮頸がん検診、超音波検査（1回から4回まで）及び新生児聴覚検査）の延べ受診者数	人
			実績	5,401	5,197	
			達成率	81%	78%	
2			目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	平成29年第2回市議会定例会において、新生児聴覚検査費用の公費助成について要望があった。		
財源内訳						
一般財源	1,272	2,171	10,845			
国都支出金	0	1,748	0			
その他	28,817	25,000	32,335			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,529	1,539	1,567			
所要人員（人）	0.20	0.20	0.20			
会計年度任用職員（千円）	144	143	157			
所要人員（人）	0.10	0.10	0.10			
合計（事業費+人件費）	31,762	30,601	44,904			

視点別の分析	内容	評価		
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
居住する区市町村以外に所在する医療機関で健康診査が受けられるよう、毎年度、代表団体が東京都医師会と委託契約を締結している。 令和5年度の受診者数は、延べ5,197人であった。	妊娠届出数は予測が難しいため、目標と実績にかい離が生じている。 特に、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、妊娠届出数が減少している（令和元年度：484人、令和2年度：407人、令和3年度：394人、令和4年度：347人、令和5年度：350人）。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
本事業は、母子保健法第13条に規定する健康診査であり、健康診査の内容は、「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準（平成27年厚生労働省告示第226号）」に定められており、本市の事業はこの基準に基づき実施している。 また、令和元年度から当該基準にない新生児聴覚検査費用の公費助成を実施しているが、当該検査は、聴覚異常を早期に発見することにより、専門の施設での適切な支援につなぐことができるため、今後とも継続する必要があると考える。			
		今後の方針	
		コスト	
		削減	維持
成果	向上		
	維持		○
	低下		

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	歯周疾患検診事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 1 健康づくり				
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係	内線	212
	根拠法令等	健康増進法				
目的	歯を失う大きな原因となっている歯周病の予防と早期発見を推進し、高齢期において健康で快適な生活が送れるように支援する。			SDGsの取組		
内容	対象者：40歳以上の市民 検診内容：問診、歯科健診、歯周ポケット測定、結果説明等（65歳以上の方には、口の乾燥状態、舌の動き、飲み込み等の検査も実施）			 3 すべての人に健康と福祉を		

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
				1	歯周疾患検診受診者数	人	目標	450	450	450
								実績	443	460
達成率	98%	102%								
2	歯周疾患検診要精検者数	人	目標	—	—	—				
				実績	336	349				
				達成率	—	—				

  

事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費（千円）		2,886	3,100	4,015
財源内訳	一般財源	1,907	2,011	2,575
	国都支出金	712	737	1,440
	その他	267	352	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,911	1,923	1,958
	所要人員（人）	0.25	0.25	0.25
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		4,797	5,023	5,973

  

市民・議会等から寄せられた意見	
歯科医師会から検診受診予定者数を増員してほしいという要望があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●受診期間：令和5年6月1日～11月15日 ●対象者：40歳以上の市民（令和5年度中に40歳となる方を含む。） ●検診内容：問診・歯科健診・歯周ポケット測定・結果説明等65歳以上の方には、口の乾燥状態、舌の動き、飲み込み等の検査 ●指定歯科医療機関：18歯科医療機関 ※市報、市ホームページのほか公共施設、医療機関等でポスターを掲示し、本事業を周知した。	歯科医師会から検診受診予定者数を増員してほしいという要望が出されている。

今後の方針																			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 歯周疾患検診は疾病の発見のみならず、検診の実施により自己管理能力を高揚させ、実践へ結びつけることにより、豊かな高齢期を迎えることを目的としている。さらに、生活習慣の改善を行うことが発症予防及び重症化予防を進める上で重要であることから、現状の体制を継続して実施していく。																			
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト			削減	維持	増加	向上			維持	○		低下		
	今後の方針																		
	コスト																		
削減	維持	増加																	
向上																			
維持	○																		
低下																			
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																			

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	休日診療等事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 2 医療・救急		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	医療法、東京都保健医療計画		
	目的	日曜、祝日、年末年始において症状に応じた適切な医療が受けられる体制を確保するため、入院を必要としない軽症患者に対する初期（一次）救急を実施することにより、市民が安心して治療が受けられるように努める。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	①休日診療：日曜、祝日、年末年始に実施（午前9時から午前11時30分まで、午後1時から午後4時まで） ②休日準夜診療：日曜、祝日に実施（午後5時30分から午後8時30分まで） 実施場所：①②ともに保健相談センター			

評価指標	指標名		単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1	休日急患診療受診者数	人	目標	—	—	—
				実績	366	828	
達成率				—	—		
2	休日準夜診療受診者数	人	目標	—	—	—	
			実績	28	111		
			達成率	—	—		

  

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	—			
事業費（千円）	23,627	24,247	24,933				
財源内訳	一般財源	18,282	18,899				19,585
	国都支出金	5,345	5,348				5,348
	その他	0	0				0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	77	77				79
	所要人員（人）	0.01	0.01				0.01
	会計年度任用職員（千円）	0	0				0
	所要人員（人）	0.00	0.00				0.00
合計（事業費+人件費）	23,704	24,324	25,012				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
発熱症状がある患者については、診療後必要に応じて抗原検査等を行った。秋以降、新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ等の流行によって、令和4年度と比較して受診者数が大幅に増となった。 休日急患診療受診者数：828人 休日準夜診療受診者数：111人	休日診療から休日準夜診療まで長時間診療を行うため、医師等への負担が大きい。 しかし、休日準夜診療を廃止すると、急病者が迅速に治療を受けることができないほか、入院を必要とする急病者（一次救急）が、二次救急指定医療機関を受診することにより、入院を要する中等症及び重症の患者（二次救急）が医療機関で迅速な治療が受けられず、本来実施すべき二次救急診療を圧迫するおそれがある。

今後の方針																									
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																									
休日等において、急病者が迅速に受診できる医療機関が必要であることから、現状の体制を継続して実施していく。																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="4">コスト</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				今後の方針				コスト					削減	維持	増加	成果	向上			維持		○	低下		
今後の方針																									
コスト																									
	削減	維持	増加																						
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																									

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	休日歯科診療事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 2 医療・救急		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	医療法、東京都保健医療計画		
	目的	日曜、年末年始における急病患者に対し休日歯科診療を実施することにより、市民が安心して治療が受けられるようにすることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	休日歯科診療：日曜、年末年始に実施（午前9時から午前11時30分まで、午後1時から午後4時まで） 実施場所：歯科医師会加入の医療機関1か所（持ち回りによる輪番制）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	休日歯科診療受診者数	人
			実績	164	160	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		7,905	8,031	7,929		—
財源内訳	一般財源	6,150	6,269	6,380		
	国都支出金	1,755	1,762	1,549		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	77	77	79		
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		7,982	8,108	8,008		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
日曜、年末年始に休日歯科診療を歯科医師会加入の医療機関の持ち回りによる輪番制で実施した。 休日歯科診療受診者数：160人	休日歯科診療受診者数は横ばいであるが、日曜、年末年始に休日歯科診療を廃止すると、急病患者が迅速に治療を受けることができない。平成22年度から平成24年度にかけて、休日歯科診療体制の見直し等を行い、輪番制の導入や経費の削減を行っている。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 休日において、急病患者が迅速に受診できる歯科医療機関が必要であることから、現状の体制を継続して実施していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																						

武蔵村山市 令和6年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	公的病院等運営費補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 2 医療・救急		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	武蔵村山市公的病院等運営費補助金交付要綱		
	目的	救急医療を実施している公的病院等に対して、運営費の一部を補助することにより、救急医療の確保及び地域医療の充実を図る。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	特別交付税に関する省令の規定により算定された額（救急告示病院としての病床数、小児救急医療、小児医療のための病床数）を基準とし、予算の範囲内において運営費の一部を補助する。			
対象（交付先）	社会医療法人財団大和会武蔵村山病院			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	救急医療を要する傷病者のための専用病床数	床
			実績	30	30	
			達成率	-	-	
2	小児医療のための専用病床数	床	目標	-	-	-
			実績	24	24	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算		
交付金額（千円）	53,194	53,194	53,194		-
一般財源	31,916	31,065	30,640		
国都支出金	0	0	0		
その他	21,278	22,129	22,554		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	77	154	157	他市等の状況 近隣市においても公的病院等に対して、運営費の補助をしている。
	所要人員（人）	0.01	0.02	0.02	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	53,271	53,348	53,351		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和5年度の市補助金の使途
	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算		
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円） 53,194
市補助金	-	-	-		使途内訳
会費	-	-	-		
繰越金	-	-	-		
事業収入	-	-	-		
その他	-	-	-		
支出	総額（千円）	0	0	0	割合（%）
交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合
人件費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合
事業経費	-	-	-		交付金額に対する繰越金の割合
その他	-	-	-		

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和5年度の実績	補助金交付に当たっての課題
武蔵村山病院において、救急医療の確保及び地域医療の充実を図るため、小児救急診療事業及び救急医療事業を実施した。	特別交付税に関する省令に基づく不採算地区公的病院等に対して、運営費の一部を補助するものであるが、各種感染症の増加や人材不足等により病院の負担は大きくなっている。

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

市民の小児救急及び救急医療の需要に対応し、市民の生命及び健康を守る必要があることから、今後も継続して病院の運営費を補助していく。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	レセプト自動点検事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係 内線 138
	根拠法令等	「国民健康保険の診療報酬明細書点検事務調査事務処理要領について」（昭55.5.10保険発第42号）		
	目的	診療報酬明細書等（以下、「レセプト」という。）の点検業務を実施することにより適正な療養給付費の支出を維持するとともに、医療費の適正化及び国民健康保険事業の健全化を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	レセプトの点検業務について、職務経験や専門知識の有無にかかわらず実施可能となる人工知能（AI）を搭載したレセプト自動点検システム及びRPAツールを利用し、業務精度の向上及び効率的な点検を実施する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1	財政効果額	円	目標	1,760	1,630	1,700
				実績	1,478	1,740	
達成率				84.0%	106.7%		
2	-	-	目標	-	-	-	
			実績	-	-		
			達成率	-	-		

  

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
事業費（千円）		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算			
財源内訳	一般財源	640	562	903			
	国都支出金	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,064	2,077	2,115			
人件費	所要人員（人）	0.27	0.27	0.27			
	会計年度任用職員（千円）	330	328	360			
	所要人員（人）	0.23	0.23	0.23			
合計（事業費+人件費）		3,034	2,967	3,378			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
【点検件数】 234,815件 月平均19,568件 【費用(税込)】 1件当たり：2.2円 RPA使用料（年間）：44,550円	限られた人員の中で効果的かつ効率的にレセプトを点検するために、令和2年度よりAI及びRPAを活用した自動点検を導入したものである。導入により短時間で効果的な点検業務ができ、費用についても抑えられている。しかし、令和5年度の東京都による指導監査の際に、一人当たりの財政効果額が都の基準より下回っていることを指摘された。今後の点検レセプト抽出方法が課題である。

今後の方針																			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し																
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																		
医療機関からの診療報酬（医療費）等の請求はレセプトにより行われ、審査委員会の審査を経て、支払いの根拠として保険者に送付される。診療報酬等支払いの適正化を図るために審査委員会において審査済のレセプトについて点検し、確認することは保険者としての責務である。 しかしながら、レセプトの点検は専門的な知識を要することから、職員が行うのは困難であり、従来からその業務を委託し、点検員の目視による点検を実施してきたところである。目視では一度に点検できる枚数に限界があることから、令和2年度より、AI及びRPAを活用した自動点検システムを利用することによって、職務経験や専門知識の有無にかかわらず自動点検が可能となった。一サイクルに要する業務時間は従来約1か月から2日程度に短縮され、費用も3分の1程度となり、短時間で効果的な点検業務の実施が可能となったものである。 令和6年度も引き続き当該システムによる点検を実施し、医療費の適正化を図る。	今後の方針 コスト <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
		削減	維持	増加															
	向上																		
	維持		○																
低下																			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	医療費適正化事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度				
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係	内線	138
	根拠法令等	国民健康保険法				
目的	健康課題に基づく個別の保健事業を推進することで、国民健康保険被保険者の健康増進、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病の発症や重症化予防等を図ることを目的とする。				SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	本市の健康課題に対応した個別の保健事業として、生活習慣病治療中断者受診勧奨事業、糖尿病性腎症重症化予防・受診行動適正化事業、ジェネリック医薬品利用促進事業、COPD（慢性閉塞性肺疾患）早期発見啓発事業、骨粗しょう症治療中断者受診勧奨事業等の事業を実施する。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度		令和5年度		令和6年度		
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	
1	健康寿命（男性/女性） ＝平均自立期間	歳	目標	79.5	83.3	79.7	83.5	80.0	84.2	
				実績	79.9	83.9	79.9	84.6		
				達成率	101%	101%	100%	100%		
2	1人当たり医療費の減少 （月額）	円	目標	22,056		20,953		27,410		
				実績	40,382		27,786			
				達成率	-83%		-33%			

事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		16,867	16,185	16,185	
財源内訳	一般財源	0	0	0	
	国都支出金	15,466	14,470	14,470	
	その他	1,401	1,715	1,715	
会計年度任用職員以外の職員（千円）		16,812	16,923	19,579	
人件費	所要人員（人）	2.20	2.20	2.50	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		33,679	33,108	35,764	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効果性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<p>【実施した主な保健事業の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●健診異常値受診勧奨事業 勧奨通知送付数：160件/保健指導実施者：37人</li> <li>●生活習慣病治療中断者受診勧奨事業 勧奨通知送付数：44件/保健指導実施者：11人</li> <li>●糖尿病性腎症重症化予防・受診行動適正化事業 勧奨通知送付数：181件/保健指導実施者：8人</li> <li>●ジェネリック医薬品利用促進事業 通知件数：839件（年4回発送）</li> <li>●COPD（慢性閉塞性肺疾患）早期発見啓発事業 勧奨通知送付数：247件</li> <li>●受診行動適正化保健指導事業 通知送付数：60件/保健指導実施者：5人</li> <li>●骨粗しょう症治療中断者受診勧奨事業 通知送付数：37件</li> </ul>	<p>委託事業者を活用して実施しているが、個別の保健事業における保健指導等において参加者をフォローするには、本市の資源を活用できる市職員（専門職）の関与が重要であるため、専門職の確保が急務である。</p> <p>また、各事業の計画、対象者の抽出、事業の実施・進行管理、事業の効果分析等に当たり専門の知識を必要とするが、国や東京都からの要求が年々増えており適正な事業実施のために恒常的な時間外勤務が発生している。</p>

今後の方針																								
<p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>本事業は、国民健康保険データヘルス計画に掲げる「健康寿命の延伸」及び「医療費の適正化」を達成するため、健康課題に対応した個別の保健事業を実施し、生活習慣病の重症化等を予防することにより、将来的な医療費の適正化を図るものである。国民健康保険制度の安定的な財政運営を持続させるためにも重要である。</p> <p>また、保健事業の推進に当たっては、PDCAサイクルを用いることで本市の実情に合わせた既存事業の拡充や新規事業の実施を図るなど、将来を見据えた事業推進により目標達成するよう努めている。具体的には、個別の保健事業について、毎年度、4つの評価指標を用いて計画、実施、評価を行っており、東京都や国民健康保険連合会等の第三者による事業評価も活用しながら、効果的かつ効率的に事業が実施できるよう努めている。</p> <p>本事業は一部拡充しており、令和4年度に歯科医療費の分析、多剤服薬者に対する服薬情報通知の送付、骨粗しょう症治療中断者受診勧奨事業を追加し、令和5年度に骨粗しょう症治療中断者の対象範囲を拡大している。また、次期データヘルス計画の策定に向けて分析評価を進め、令和6年3月にデータヘルス計画を策定した。引き続き、被保険者に寄り添った事業が実施できるよう取り組んでいく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	特定健康診査未受診者受診勧奨事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度				
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係	内線	138
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律				
	目的	国民健康保険被保険者が自らの健康リスクを把握し、生活習慣病の発症及び重症化を予防する契機となる特定健康診査の受診者を増やすため、受診勧奨を実施する。			SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	効果的に受診へと導くために、人工知能やナッジ理論を用いた通知による受診勧奨を実施する。また、医療機関や保険薬局等へのポスター掲示や大型商業施設へのデジタルサイネージ広報、保健師による電話勧奨などの効果的な取組等を積み重ねて周知を図る。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1	特定健康診査受診率	%	目標	58.1	60.0
			実績	50.9	49.2	
			達成率	81.4%	82.0%	
2			目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

  

事業経費	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費(千円)	4,312	5,330	5,770
財源内訳			
一般財源	0	0	0
国都支出金	4,312	5,330	5,770
その他	0	0	0
人件費			
会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,529	1,539	1,567
所要人員(人)	0.20	0.20	0.20
会計年度任用職員(千円)	0	0	0
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)	5,841	6,869	7,337

  

市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	内容	必要である	見直しの余地がある	非該当
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●受診勧奨通知【1回目】令和5年6月29日 5,902件 【2回目】令和5年8月31日 8,291件 勧奨通知後に受診した者 2,972人(36.6%)</li> <li>●はがきによる受診勧奨：令和5年8月17日及び21日 初回健診である40歳：114件 受診率の低い40代から50代：386件 受診率の低い残堀地区の60歳～64歳：200件 通知後受診：131件(18.7%)</li> <li>●その他、医療機関、保険薬局、公共施設へのポスター掲示、大型商業施設のデジタルサイネージ、SMS等を活用して周知に努めた。</li> </ul>	<p>特定健康診査は生活習慣病の予防、早期発見の要となるものである。自覚症状なく進行することの多い生活習慣病を抑制するため、健診受診者を増やすことは急務である。そのため、受診勧奨については委託業者に加え保険年金課、健康推進課でも実施しているが、受診率は伸び悩み、目標値を達成できない状況が続いている。</p>

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
<p>特定健康診査の受診者と未受診者を比較すると、未受診者の方が医療費が高い。また、生活習慣病の医療費で比較しても、未受診者の医療費は高く、特に入院医療費が高い。これは、生活習慣病が重症化してから受診するためと推測されることから、生活習慣病の早期発見・早期治療に結び付けるためにも受診率の向上は急務である。</p> <p>委託事業者による人工知能やナッジ理論を活用した効果的な通知に加え、令和3年度から実施している不定期受診者と健診未経験者への「コール・リコール」を継続する。</p> <p>特に受診率の低い地域や年代等のはがき等による勧奨、ポスター掲示、大型商業施設でのデジタルサイネージ表示、SMS発信、保健師による電話勧奨、健康づくり相談会での受診勧奨も引き続き継続して取り組んでいく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		特定健康診査未受診者受診勧奨事業	
所管部署		市民部 保険年金課 医療費適正化係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・市民との協働により事業を実施しているか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・受益者負担は適切か</li> <li>・施策への貢献度は適切か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託等は可能か</li> <li>・事業費の更なる削減は可能か</li> <li>・類似事業等との統合は可能か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>本事業は、健康寿命の延伸及び医療費の適正化を目的として、生活習慣病の発症及び重症化を予防する契機となる特定健康診査の受診者を増やすため、未受診者への受診勧奨を行うものであり、その意義は十分に認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>また、効果的に受診へと導くため、委託事業者によるナッジ理論等を用いた通知など勧奨方法を工夫することで特定健康診査受診率の向上を図り、同率を東京都平均より高い水準につなげていることは評価できる。</p> <p>ただし、公共性とプライバシー保護の観点から、診療報酬明細書等の個人情報を利用した勧奨に当たっては、当該情報を活用した取組について市民から理解を得られるよう、透明性を確保した上で実施することを求めたい。</p>		

武蔵村山市 令和6年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	人間ドック等助成事業（国民健康保険）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係 内線 138
	根拠法令等	武蔵村山市国民健康保険・後期高齢者医療保険人間ドック等受診料助成金交付要綱		
	目的	国民健康保険被保険者が人間ドック又は脳ドックを受診した場合に、その費用の一部を助成することにより、疾病の早期発見及び予防に寄与し、健康の保持増進を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	①特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準第1条第1項第1号から第9号までに規定する項目全てを含む場合 支払額の1/2（上限2万円） ②脳ドック受診 支払額の1/2（上限1.5万円）			
対象（交付先）	国民健康保険被保険者（40歳以上を対象）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	特定健康診査の受診率向上につながった受診者数（平成29年度比）の割合	%
			実績	8.9	3.2	
			達成率	46.8%	16.0%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—

事業経費				令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
補助金	交付金額（千円）	3,381	3,264	4,000		
	一般財源	3,381	3,264	4,000		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,529	1,539	784		
	所要人員（人）	0.20	0.20	0.10		
	会計年度任用職員（千円）	287	285	313		
	所要人員（人）	0.20	0.20	0.20		
合計（補助金+人件費）				5,197	5,088	5,097

**市民・議会等から寄せられた意見**  
市民から助成要件が分かりにくい、助成申請時に助成金額が分からないとの意見があり、要綱の一部改正を行った。

**他市等の状況**  
●人間ドック助成：14自治体実施  
●脳ドック助成：9自治体実施  
●婦人科ドック助成：1自治体実施  
（いずれも令和2年度現在、26市中、本市除く）

交付団体等の決算予算の状況				令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
収入	総額（千円）	0	0	0		
	市補助金	-	-	-		
	会費	-	-	-		
	繰越金	-	-	-		
	事業収入	-	-	-		
支出	総額（千円）	0	0	0		
	交際費、飲食費	-	-	-		
	人件費	-	-	-		
	事業経費	-	-	-		
	その他	-	-	-		

**交付団体等の令和5年度の市補助金の使途**

交付金額（千円）	3,264
使途内訳	
割合（%）	
団体収入に占める補助金の割合	—
団体収入に占める繰越金の割合	—
交付金額に対する繰越金の割合	—

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない		
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

令和5年度の実績	補助金交付に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●人間ドック助成 159件：2,940,000円 （内訳：2万円助成135件、1万円助成24件）</li> <li>●脳ドック助成 17件：323,730円 （内訳：2万円助成13件、その他助成4件）</li> </ul>	本助成制度の利用者のうち60歳以上の方が8割超となっているため、特定健康診査と同様に若年層の取り込みが課題である。

今後の方針																										
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
<p>疾病の早期発見及び予防に寄与し、健康を保持増進する事業として有効であるため、令和6年度も引き続き助成を実施する。</p> <p>今まで被保険者から助成要件が分かりにくい、助成申請時に助成金額が分からない等の意見が多く寄せられていた審査項目について整理検討した上で、補助要綱を一部改正し、被保険者に分かりやすい要綱として令和6年度から運用している。</p> <p>【審査基準】 特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準第1条第1項第1号から第9号までに規定する項目及び脳ドック</p> <p>【補助金額】 医療機関に支払った金額の1/2と2万円（脳ドックの場合は1.5万円）を比較し安い金額 なお、本助成において実施した検査項目により特定健康診査を実施したとみなすため、その受診率向上にも寄与しているところである。</p>																										
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="4">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				今後の方針				成果	コスト			削減	維持	増加	向上		○		維持				低下			
今後の方針																										
成果	コスト																									
	削減	維持	増加																							
向上		○																								
維持																										
低下																										

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和6年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	人間ドック等助成事業（後期高齢者医療）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	後期・年金係 内線 135
	根拠法令等	武蔵村山市国民健康保険・後期高齢者医療保険人間ドック等受診料助成金交付要綱		
	目的	後期高齢者医療被保険者に対して、人間ドック又は脳ドックの受診費用の一部を助成することにより、疾病の早期発見及び予防に寄与し健康の保持増進を図ることを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	①特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準第1条第1項第1号から第9号までに規定する項目全てを含む場合 支払額の1/2を助成（上限2万円） ②脳ドック受診 支払額の1/2を助成（上限2万円）			
対象（交付先）	後期高齢者医療被保険者			



評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	受診者数	人
			実績	45	55	
			達成率	90%	110%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

事業経費				令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
補助金	交付金額（千円）	770	988	1,000		
	一般財源	534	739	690		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	236	249	310		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	77	77	79		
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01		
	会計年度任用職員（千円）	416	414	454		
	所要人員（人）	0.29	0.29	0.29		
合計（補助金+人件費）		1,263	1,479	1,533		

**市民・議会等から寄せられた意見**  
市民から助成要件が分かりにくい、助成申請時に助成金額が分からないとの意見があり、要綱の一部改正を行った。

**他市等の状況**  
●人間ドック助成：14自治体実施  
●脳ドック助成：9自治体実施  
●婦人科ドック助成：1自治体実施  
(いずれも令和2年度現在、26市中、本市除く)

交付団体等の決算予算の状況				令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
収入	総額（千円）	0	0	0		
	市補助金	-	-	-		
	会費	-	-	-		
	繰越金	-	-	-		
	事業収入	-	-	-		
支出	総額（千円）	0	0	0		
	交際費、飲食費	-	-	-		
	人件費	-	-	-		
	事業経費	-	-	-		
	その他	-	-	-		

**交付団体等の令和5年度の市補助金の使途**

交付金額（千円）	988
使途内訳	
割合（％）	
団体収入に占める補助金の割合	—
団体収入に占める繰越金の割合	—
交付金額に対する繰越金の割合	—

視点別の分析	内容	評価	
		必要である	見直しの余地がある
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効果性	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和5年度の実績	補助金交付に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●人間ドック 42件：730,000円 (内訳：2万円助成31件、1万円助成11件)</li> <li>●脳ドック 13件：257,300円 (内訳：2万円助成11件、その他助成2件)</li> </ul>	健康診査の受診率向上や、市民の健康維持増進を図るため、今後も更に制度の活用を促進していく必要がある。

今後の方針			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
<p>疾病の早期発見及び予防に寄与し、健康を保持増進する事業として有効であるため、令和6年度も引き続き助成を実施する。</p> <p>今まで被保険者から助成要件が分かりにくい、助成申請時に助成金額が分からない等の意見が多く寄せられていた審査項目について整理検討した上で、補助要綱を一部改正し、被保険者に分かりやすい要綱として令和6年度から運用している。</p> <p>【審査基準】 特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準第1条第1項第1号から第9号までに規定する項目及び脳ドック</p> <p>【補助金額】 医療機関に支払った金額の1/2と2万円（脳ドックの場合は1.5万円）を比較し安い金額 なお、本助成において実施した検査項目により健康診査を実施したとみなすため、その受診率向上にも寄与しているところである。</p>			
成果	向上		○
	維持		
	低下		

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業（企画調整 ハイリスクアプローチ）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	後期・年金係 内線 135
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律		
目的	複数の疾患及びフレイル状態に陥りやすい高齢者に対し、高齢者一人一人の状況に応じたきめ細かな対応を効果的かつ効率的に行うため、東京都後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という。）と市が連携し、介護保険の地域支援事業及び国民健康保険の保健事業を一体的に実施することにより、健康寿命の延伸を図る。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	保険年金課では、ハイリスクアプローチ（個別的支援）として、糖尿病性腎症及び糖尿病の後期高齢者を対象に、かかりつけ医等の医療機関と連携し、糖尿病性腎症等の重症化予防に必要な保健指導及び医療機関への受診勧奨を実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	保健指導実施率	%
			実績	100	100	
			達成率	100%	100%	
2	未治療者への医療機関受診勧奨架電実施率	%	目標	100	100	100
			実績	100	100	
			達成率	100%	100%	

事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費(千円)		2,189	3,083	7,107
財源内訳	一般財源	0	0	0
	国都支出金	0	0	0
	その他	2,189	3,083	7,107
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	10,928	11,000	11,199
	所要人員(人)	1.43	1.43	1.43
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		13,117	14,083	18,306

市民・議会等から寄せられた意見

【保健指導参加者からの意見】

- 保健指導に参加して、他の人と比べると健康かどうかを考えるようになった。
- 分かりやすく話してくれて自分の知識の確認ができた。もっと早くこのような機会があると良かった。
- 自分では気づかなかった点を気づかされたり、教えてもらうことが多くあった。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>【保健指導】</p> <p>日常生活圏域全4圏域において実施し、勧奨通知を119人に発送後、架電勧奨を行い14人に保健指導を実施した（参加率11.8%）。</p> <p>【医療機関未治療者への受診勧奨】</p> <p>受診勧奨通知を2人に発送し、架電による保健指導を2人に実施した（架電率100%）。</p> <p>【医療機関治療中断者への受診勧奨】</p> <p>受診勧奨通知を2人に発送した。（受診勧奨実施率100%）。</p> <p>【令和4年度保健指導参加者への継続支援】</p> <p>継続支援の案内通知を発送後、16人に保健指導を実施した。</p> <p>【国民健康保険制度からの継続支援】</p> <p>継続支援の案内通知を発送後、3人に保健指導を実施した。</p>	<p>糖尿病性腎症等重症化予防事業について、本市の日常生活圏域全4圏域から参加者を募り、圏域・年齢・性別等偏ることなく参加者を確保することができた。しかし、参加率は令和4年度実績（17.0%）と比較して低かったため、今後、参加者を確保するよう工夫改善して実施していきたい。</p> <p>また、今後も対象者が参加しやすいよう、分かりやすい通知内容や安心して参加できる勧奨方法について検討していく。</p>

今後の方針																									
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
<p>糖尿病性腎症等重症化予防事業については、参加者を確保するため、参加勧奨架電時のトークスクリプトや、案内チラシをより参加しようという意欲が高まる内容となるよう検討していく。</p> <p>また、委託業者と連携を図り、一人一人に寄り添ったきめ細かな保健指導を実施し、高齢者の健康寿命の延伸を図る。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）</p>	今後の方針		コスト			成果		削減	維持	増加	向上		○		維持					低下				
今後の方針		コスト																							
成果		削減	維持	増加																					
		向上		○																					
維持																									
低下																									

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業（ポピュレーションアプローチ）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	地域包括ケア 係 内線 632
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく高齢者保健事業の実施等に関する指針		
	目的	高齢者が自らの健康状態に関心を持ち、介護予防・フレイル予防の重要性を理解することで、住み慣れた地域で、持続的に自立した生活を営みながら、継続的に社会参加のできる地域づくりを行い、もって健康寿命の延伸を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	「お互いさまサロンの参加者に対する集団支援（ポピュレーションアプローチ）」に係る事業として、日常生活圏域ごとに1か所、計4か所の通いの場において、口腔と栄養に係る一体的な健康教室・相談事業（歯つらつ教室事業）、フレイルチェック会事業、個別相談支援事業等を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1	初回から終了までの継続参加者の割合	%	目標	100	100	100
				実績	71	62	
達成率				71%	62%		
2	利用者の口腔機能の自己評価にて、事業の前後で口腔機能低下の危険性が高いと判定された人数（維持・改善）の割合	%	目標	—	10	10	
			実績	—	8		
			達成率	—	80%		

  

事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費（千円）		559	482	4,016
財源内訳	一般財源	0	0	0
	国都支出金	0	0	0
	その他	559	482	4,016
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	810	1,985	1,512
	所要人員（人）	0.11	0.26	0.19
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		1,369	2,467	5,528

  

市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
8か所の通いの場において歯科衛生士による集団指導や口腔機能の測定を実施するとともに、オーラルフレイル予防の重要性に関する普及啓発を行った。	従事する職員体制の確保及び利用者への測定結果の効果的なフィードバック方法の検討が必要である。 また、通いの場へ参加していない高齢者へのアプローチを行うため、通いの場以外での実施についても検討する。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
令和6年度から日常圏域ごとに4か所、計16か所に通いの場を拡充することに伴い、事業の委託を行うことで、職員体制の確保及び継続的な事業運営の担保を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業（ポピュレーションアプローチ）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく高齢者保健事業の実施等に関する指針		
	目的	高齢者が自らの健康状態に関心を持ち、介護予防・フレイル予防の重要性を理解することで、住み慣れた地域で、持続的に自立した生活を営みながら、継続的に社会参加のできる地域づくりを行い、もって健康寿命の延伸を図ることを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	「お互いさまサロンの参加者に対する集団支援（ポピュレーションアプローチ）」に係る事業として、日常生活圏域ごとに2か所、計8か所の通いの場において、口腔と栄養に係る一体的な健康教室・相談事業（歯つらつ教室事業）、フレイルチェック会事業、個別相談支援事業等を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1	初回から終了までの継続参加者の割合	%	目標	100	100	100
				実績	71	62	
達成率				71%	62%		
2	利用者の口腔機能の自己評価にて、事業の前後で口腔機能低下の危険性が高いと判定された人数（維持・改善）の割合	%	目標	—	10	10	
			実績	—	8		
			達成率	—	80%		

  

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算			
事業費（千円）		0	0	0			
財源内訳	一般財源	-	-	-			
	国都支出金	-	-	-			
	その他	0	0	0			
会計年度任用職員以外の職員（千円）		994	2,000	470			
人件費	所要人員（人）	0.13	0.26	0.06			
	会計年度任用職員（千円）	0	855	0			
	所要人員（人）	0.00	0.60	0.00			
合計（事業費+人件費）		994	2,855	470			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
8か所の通いの場において歯科衛生士による集団指導や口腔機能の測定を実施するとともに、オーラルフレイル予防の重要性に関する普及啓発を行った。	従事する職員体制の確保及び利用者への測定結果の効果的なフィードバック方法の検討が必要である。 また、通いの場へ参加していない高齢者へのアプローチを行うため、通いの場以外での実施についても検討する。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
令和6年度から日常圏域ごとに4か所、計16か所に通いの場を拡充することに伴い、事業の委託を行うことで、職員体制の確保及び継続的な事業運営の担保を図る。																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																								